大牟田市立玉川小学校

1　学習に取り組んでいる主な分野

□生物多様性	☑海洋	□防災・減災	□気候変動
□エネルギー	☑環境	□文化多様性	□世界遺産・文化財
□国際理解	□平和	□人権	□ジェンダー平等
☑福祉	□生産と消費	☑その他（　　食育　　）	

2　ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「志を持ち、自ら考え行動できる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、ユネスコスクールが重点的に取り組む３つの分野を通して、「将来にわたって持続可能な社会を構築するために一人一人が環境と深いつながりがあることを知り、身近な環境を大切にしようと自分にできることに取り組む子どもを育てる。」という目標を設定した。

具体的には、地域の豊かな自然や人とのつながりを大切にしようとする学習、自分たちの身近な環境を大切にしようとする学習、地域の伝統文化や文化財についての学習を行った。

3　特徴的な活動事例の紹介

○ ４年生「鳴川・諏訪川自然たんけん隊」

４年生総合的な学習の時間「鳴川・諏訪川自然たんけん隊」の単元を通して、校区を流れる鳴川や諏訪川について、ネイチャーガイドの先生や市の環境保全課の方々と共に、CDT パックテストや水質検査を行って流域ごとの透明度を調べ、生息する生き物と自然環境の関係について調査を行った。子どもたちは透明度の高さから、玉川校区が豊かな水資源に恵まれている地域であり、それが、豊かな農作物の栽培につながっていることに気づいた。更に、学習したことを『ユネスコスクール記念集会』や『学習発表会』で発表することで、玉川校区の宝物を多方面に発信し、地域を愛する

心を育むことができた。
　また、子どもたちはきれいな川や海を守るために自分たちでできることを考え取り組んできた。しかし、自分たちの取組だけではなかなか変わらないことから、３学期末までの取組の一つとして、４年生の子どもたちが保護者や地域の方など周りの大人も巻き込んで、みんなで地域のごみ拾いをする計画を立てて進めている。

○ ５年生「米作りに挑戦しよう」

　本校区は、自然豊かで、昔から農業（稲作が中心）が盛んな地域である。そのような玉川校区で、自然農法で米作りに携わっていらっしゃる地域の方にＧＴとして来ていただき、自然を守り安心して食べられる米作りのための様々な工夫や努力とその思いについて学んだ。そして、地域の方やＪＡの方のお力を借りて田植え・稲刈り・脱穀などの農業体験を行った。
　また、地域のお年寄りに、その５年生が育てた古代米を配付して、地域の方とのつながりをより強いものとしながら、地域のよさや地域の農作物のおいしさを地域の方と共有した。そして、地域の「米はかり踊り保存会」の方々から継承された３００年以上も続く「米はかり踊り」も含め、玉川のすばらしい歴史を引き継ぐのは、自分たちだという気持ちを強くしました。

３　今後の活動計画

以下のことを重点内容として活動に取り組む。
１年生：はなややさいとなかよし
２年生：花や野菜の大きくなるひみつはっけん
３年生：玉川探検隊（春・夏・秋・冬）
※　校区で栽培されている農作物を調べ、地域の人の素晴らしさに気づかせる。
４年生：鳴川・諏訪川探検隊（地域の鳴川・諏訪川）
５年生：米作りに挑戦：お年寄りにもち米を配ろう
※　米作りでできたもち米をお年寄りに配付することで、福祉への興味関心を高め、主体的に活動できるようにする。
６年生：櫟野石の秘密を探ろう